

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公開番号】特開2004-217791(P2004-217791A)
 【公開日】平成16年8月5日(2004.8.5)
 【年通号数】公開・登録公報2004-030
 【出願番号】特願2003-6990(P2003-6990)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 9/00 (2006.01)
B 6 0 C 1/00 (2006.01)
C 0 8 K 3/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 9/00
 B 6 0 C 1/00 A
 C 0 8 K 3/04

【手続補正書】
 【提出日】平成17年12月20日(2005.12.20)
 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0007
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0007】

本発明のタイヤ用ゴム組成物には、粒子径が15～40nm、好ましくは18～35nm、窒素吸着比表面積 N_2 S Aが60～200 m^2/g 、好ましくは70～180 m^2/g で、かつpHが1～5又は8.5～13、好ましくは2～4.5又は9～12のカーボンブラック5～120重量部を、好ましくは8～110重量部を配合する。なお、本発明において使用するカーボンブラックは上記要件に加えてジブチルフタレート吸油量D B P Aが30～80ml/100gであるのが好ましい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0015
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0015】

次にレオメータ試験及び得られた加硫ゴムシートの粘弾性を測定し、その結果も表Iに示した。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0019
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0019】

実施例5～8及び比較例1～6

表IIに示す配合(重量部)に従って、実施例1～4と同様にしてサンプルを調製し、評価を行なった。結果を表IIに示す。なお、比較例1～6は表Iのものと同じである。